

留学していた4か月、一番力を入れたのは授業と宿題でした。授業は基本的に4つあり、TOEIC対策、リーディング・ライティング、リスニング・スピーキング、文法がメインでした。これらの授業のおかげで私の英語のスキルは確実に上がったと思います。しかし初めのうちはとても大変でした。

最初の1か月は、先生たちの支持が聞き取れず何をすればいいかわからず、教科書の問題も理解できず、思ったように話せず、自分がどれだけ英語ができないかを思い知ることになりました。それにもかかわらず、授業の進度は速く毎日たくさんの宿題が出されていたので、ほぼ4か月を通して勉強に追われる毎日でした。その中でも大変だったのが、リーディング・ライティングの授業のレポート課題です。毎週与えられた新聞記事を1つ読み、要約したあと自分の意見を述べるものなのですが、英語で記事を読み内容を理解することから始まり、本文と同じ単語を使わずパラフレーズしての要約が必要なので、時間のかかるものでした。しかしそんなことを繰り返すうちに、自分でも気が付かないうちに自然とできることが多くなっていました。毎日の授業とたくさんの課題によって語彙力がつき、レポートの書き方やよく使う言い回しを身に付け、自分の意見と理由を持ち、例を挙げて示すことが前よりもできるようになっていました。

また、リスニング・スピーキングの授業ではスピーチ課題があり、難しくもとてもやりがいのあるものでした。最終スピーチでは“Gender Issue”とテーマとし、インタビューを行い、本やインターネットの情報を引用して自分の主張を理由と証拠を挙げて5分程度で話します。これらを全て英語で行うのは骨の折れる作業でしたが、英語の勉強に加えてスピーチに関するスキルも同時に練習できたので、効果的に私を成長させてくれたと思います。

留学を終え、4か月という短い期間が、ハードに勉強したことで学習面においても充実していたと感じています。アメリカまで行って勉強するからには自分を追い込みたいと考えていたので、無理矢理つめこむような勉強法でしたが、私には効果的で確実に成長することができました。授業を行ってくださった先生方、特に Mrs. Hardee と Mrs.K に本当に感謝しています。ありがとうございました。